

社会福祉法人 輔仁会 様



つぼみ保育園(定員250人)、さわらび保育園(定員280人)、新宮つぼみ保育園(定員150人)、つぼみ保育園分園(定員30人)、新宮つぼみ保育園分園(30人)を運営する社会福祉法人 輔仁会様。「子どもたちに最善の喜びと幸せを子育てに夢と力を」という保育理念のもと、各園では、保育士たちの笑顔に見守られて、園児たちの生き生きとした元気な声が聞こえている。

本社所在地
〒813-0044 福岡市東区千早1-18-24
<http://www.hojinkai.ed.jp/index.html>
1965年設立

【導入システム一覧】

コラボレーションサービス

■ Cisco Spark

拠点端末

■ Cisco DX80

ライセンス

■ Cisco Spark Room
ライセンス

複数の拠点をシスコが結ぶ。
高いレベルのコミュニケーションで
法人の課題を、速やかな解決へと導く。

既存のビデオ会議システムからのリプレイスは、何が決め手だったのか？

複数の拠点を有する法人では、本部と拠点、あるいは拠点間の意志の疎通は、非常に重要な課題です。コミュニケーションを怠れば、法人としての方針や考え方が浸透しませんし、逆に密にしようとするれば、それぞれが移動しての会議が増え、結局は時間と費用というコストが問題になります。そこで最近では、電話やメールなどと異なり、お互いの顔を見ながらコミュニケーションでき、なおかつ移動の必要もないビデオ会議システムを導入するという解決策が選択されています。

複数の保育園を運営する社会福祉法人 輔仁会様でも、以前から国内メーカーのビデオ会議システムを利用していました。ただ、音声が遅れがちで会話が成

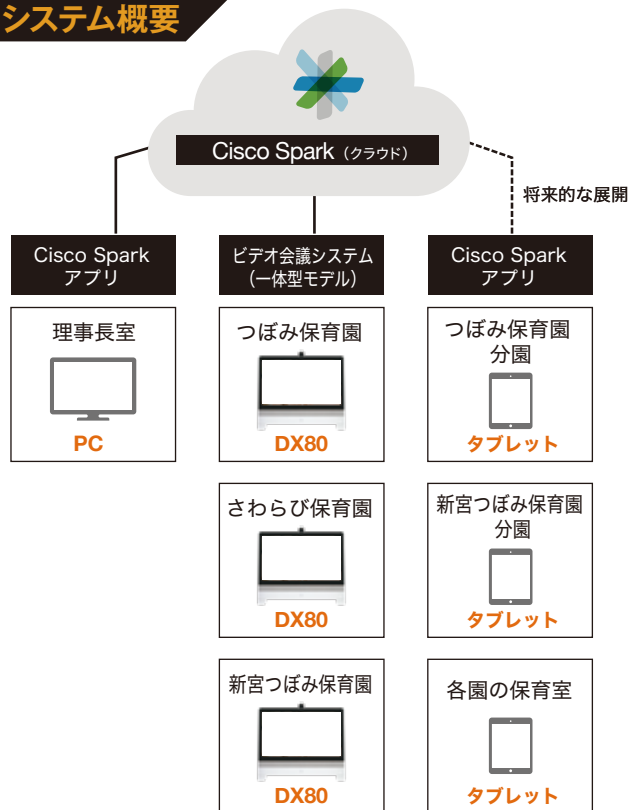
り立たないこと、映像の鮮明さにも不満があったこと、専用機以外のパソコンやタブレットでも利用したいなどの理由で、リプレイスが検討されました。

音声、映像ともに高品質で、しかも自然なやり取りができるシスコなら、高いレベルのコミュニケーションが可能でした。また、Cisco Sparkアプリを使うことで、追加費用なしで、理事長室のパソコンでも利用でき、将来的には2つの分園や園内の教室にあるタブレットも活用可能であることが選定の決め手でした。

コミュニケーションの質が向上すれば、当然、話し合いの内容に集中でき、さまざまな法人の課題を、無駄なく、効率的に解決に導くことができます。



システム概要



つぼみ保育園の事務室に設置されているモニターとカメラ一体型のDX80。その前にスタッフが集まり、ほかの保育園のスタッフとミーティングが行われる。パソコンと接続して資料を共有することももちろん、紙の資料を直接映して先方に見せるなど、自由に活用している。

多忙な保育園スタッフにとって、ビデオ会議システムは、もはや常識。

一般に、保育士たちをはじめ、保育園のスタッフは非常に多忙で、人員不足や働き方改革が社会問題になるほどです。社会福祉法人 輔仁会様では、シスコ導入前から、ビデオ会議システムが常識となっていました。それは効率的な時間の使い方が強く求められているからです。法人全体を考えれば、複数の保育園で協議しなければならない事項は非常に多いものの、スタッフ同士の時間を合わせたり、そのために移動したりするのは、あまり効率的とは言えません。しかし、電話やメールなどでは、十分なコミュニケーションは図れるとは限りません。それが、早い時期から、ビデオ会議システムを導入していた理由です。

また、何年もビデオ会議を繰り返し行ってきた経験から、映像の鮮明さ、臨場感のある音声、タイムラグを感じさせない通信速度、コストパフォーマンス、将来への発展性など、厳しい目で検討がなされたのも確かです。

シスコは、ビデオ会議システムを十分に理解しているそうした利用者の目にも、はっきりと品質の高さを感じてもらえます。他社製品からのリプレイスでも、操作が簡単なので、自然に移行でき、誰でも違和感なく使えることも重要でした。

スムーズなコミュニケーションは、話し合いや課題解決の重要なポイント。

リプレイス前と比較して、「そこにいるような感覚」との評価は、すなわちコミュニケーションがスムーズであるということ。実際に利用していると

きには、ビデオ会議であることをあまり意識させないことがベストな状態です。レベルの高い映像や音声、通信速度や操作性が、会話を支えることで、別の場所からの参加者と「そこにいるような感覚」で会話ができていると言えます。

ビデオ会議システムを利用するのは、単に離れた拠点の人とコミュニケーションするためではありません。ビデオ会議システムをツールとして、法人の課題を速やかに、効率よく解決するためです。そのために、コミュニケーションの質の高さが求められるのです。

社会福祉法人 輔仁会でも、年間行事の検討や業務の改善計画の協議、理事長からの伝達など、多くのやり取りが必要とされています。その上、それらは、高いレベルでのコミュニケーションでなければなりません。それは、大切な園児たちに関わることだからです。子供たちの安全や育成など、重要な目的のための話し合いを、シスコのビデオ会議システムが支えています。

近い将来、園と園だけではなく、事務室と保育室なども結び、より効率的な使い方も想定。

現在は、3つの保育園にモニターとカメラ一体型のDX80を設置し、Cisco Sparkアプリで理事長のパソコンでも利用できるようにシステムですが、将来的には、タブレットを利用して、2つの分園ともコミュニケーションを取りたいと計画しています。また、各保育室にもタブレットが置かれてあるので、園内でも、その場にいながらビデオ会議に参加することも想定しています。発展性や汎用性のあるシスコのビデオ会議システムだからこそ、自由な発想で、さまざまな活用法や利用法へ拡大することも期待できます。

取材時期：2018年2月

お問い合わせ

販売代理店 **株式会社プリンストン PRINCETON**

URL <http://www.princeton.co.jp/> E-mail dcs-info@princeton.co.jp



Cisco, Cisco Systems, および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本紙に掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社とのパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)